

## 検査目的

乳房に超音波を当て  
乳房内部のしこりの有無、しこりの性状、乳腺の性状や状態・炎症の有無等を検査します。



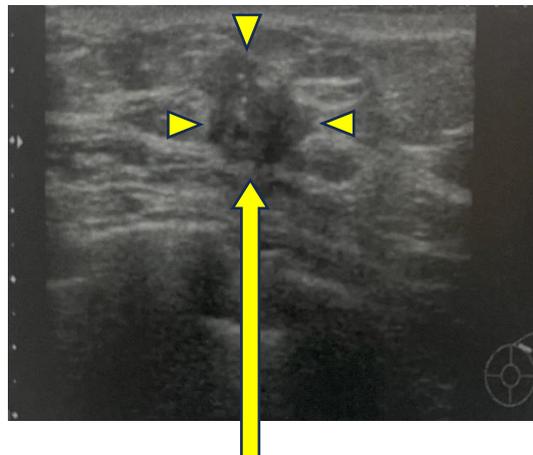
日本人女性のがん罹患率で最も多いのは乳がんです。

今や9人に1人が乳がんになる時代です。

ただし早期発見・早期治療によりほぼ完治が見込めます。

## 検査方法

- 1)上半身の衣服を脱いでいただき、ベッドに仰向けで寝ます。
  - 2)検査する側の腕を上げて検査します。
  - 3)乳房全体にゼリーを塗り、小さな器械(プローブ:探触子)を当てて観察します。
- \* 検査時間は10~15分くらいです。



女性技師が担当します。

乳がん

## 乳腺超音波検査とマンモグラフィー検査の特徴

	乳腺超音波検査	マンモグラフィー検査
長所	高濃度乳房でも腫瘍を発見しやすい。	死亡率を下げるエビデンス(根拠)がある。
	被ばくがないため、妊娠中でも検査可能。	石灰化のあるがんを見つけることが容易。
	検査で痛みを伴うことはない。	脂肪の多い乳房の早期発見に向いている。
短所	死亡率を下げるエビデンス(根拠)がない。	高濃度乳房では腫瘍を見えにくい。
	微細石灰化は見えにくい。	微量ながら放射線被ばくを伴う。
	検査を行う技師の能力に依存する割合が高い。	乳房を挟むため、人によっては痛みを伴う。



2つの検査を組み合わせると

**乳がんの発見率が1.5倍**に上がります。

## “ブレスト・アウェアネス” ご存じですか？

～ふだんから乳房を意識する生活習慣のことです～

ブレスト・アウェアネス4つのポイント！

1. 自分の乳房の状態を知る
2. 乳房の変化に気をつける
3. 変化に気づいたらすぐ医師へ相談
4. 40歳になったら2年に1度乳がん検診

⇒ **乳がんの早期発見!**